

里山再生部会

1. 現状把握・現状認識

- 「ハンノキ湿原」や「いっせんぼく」へと続く木道は損傷が著しく、補修や改良が必要である。
- 道の側に朽ちた倒木竹があり、景観を損なうと共に水路の流れを阻害するため、撤去が必要である。
- 「ハンノキ湿原」は手入れが行き届かず、荒廃が進み保全・利活用について検討する必要がある。



2. 取組の進捗

- 8月6日 第2回里山再生部会開催。ワークショップ形式でビジョンについて意見交換。
- 9月4日～ **「きさらづみなトーク」を活用した意見収集。**
- 9月30日 木道修繕工事が完了（参考1）。 ↓

- 「いっせんぼく」の再生に向け、まずは将来の展望を皆さんと一緒に考えていくために、あなたや周囲の人にとって、「いっせんぼく」とはどんなところか、あるいは、いっせんぼくの魅力や強み、課題などについて、あなたが感じることを教えてください！皆さまからいただいたご意見は、「いっせんぼく」再生に向け、役立てていきます
- ※ 募集期間終了しました。
- 担当課：財産活用課

3. 参考

参考1：木道修繕



取組2：森林整備の促進

1. 現状把握・現状認識

- 整備されずに放置された竹林が、周辺の森林へ侵入・拡大しており、森林の育成を阻害している。
- 繁茂した竹林が雨風で倒れ、通行の支障となる。
- 放置竹林の整備を行い、森林の育成環境の整備に取り組む必要がある。
- 伐木竹を資源として利活用するための検討を行う必要がある。



2. 取組の進捗

- ① 木道補修に先立ち行った倒竹木の撤去及び集積活動。
- ② チップ化用破碎機の検討（リース、購入、破碎機所有者からの借用）。
- ③ チップ化後の活用検討。
- ④ 11月15日（金）に恵泉女学園大学を訪問し「Keisen 竹ダンボールコンポスト」の取組を聴取（学校給食課、オーガニックシティ推進課）。